



別府市の詩人、山脇益美さん(30)が初の詩集「朝見に行くよ」を出版しました。

① 京都府出身の山脇さんが別府に移り住んだのはどうしてでしょう？

.....



「朝見に行くよ」を出版した山脇益美さん＝別府市

【別府】別府市の詩人、山脇益美さん(30)が初の詩集「朝見に行くよ」(B6判、73頁)を出版した。京都府出身で別府を初めて訪れてからこれまでの約8年を、さまざまな風景に心を寄せながら紡いだ。

朝見の暮らしを詩に

② 山脇さんが朝見地区に心を引かれる理由は何ですか？

.....

別府に移住 山脇さんが詩集

日常の風景に心寄せ

市内で最も心引かれる町が市南部に位置する八幡朝見神社や朝見川がある朝見地区。のんびりとしていて、古い木造建築から漂う暮らしの営みが心地よく感じられる場所という。タイトルには「朝見に行く」と「朝見」という場所に行くの二つの意味を込めた。詩は20編。心よりどころという川と朝見をテーマに、日常の出来事から生まれた感情を細やかに表現した。別府に移ってからは詩の創作だけでなく、朗読などのワークショップも開催。2015年の「混浴温泉世界」では路地裏などを紹介する案内人を務めた。「詩集の出版は別府に来てから目標にできた。映像や小説などさまざまな表現にも挑戦したい。朝見を知らない人にも届けたい」と話している。税抜き2千円。問い合わせはメール(zakkeishoten@gmail.com)へ。(佐藤弘子)

③ 山脇さんが詩集「朝見に行くよ」で表現したのはどんなことでしょうか？

.....

④ 詩集の出版や今後の活動について、山脇さんは何と話していますか？

.....